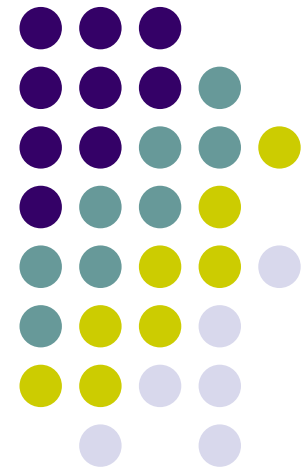


<2009年度 第3四半期 決算説明会>

# 参考資料

2010年1月29日  
東京ガス株式会社



# 目次

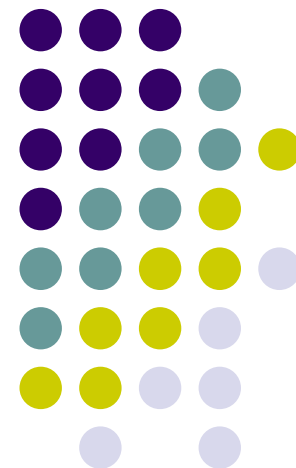
## 実績編

- ・連結 主要決算数値（今期 対 前期） . . . . . P. 1
- ・個別 主要決算数値（今期 対 前期） . . . . . P. 2
- 営業主要計数・諸経費内訳（今期 対 前期） . . . . . P. 3

## 見通し編

- ・経済フレーム及び年度収支影響感度（個別） . . . . . P. 4
- ・連結 主要決算数値（今回見通し 対 前回見通し・対前期） . . . . . P. 5
- ・個別 主要決算数値（今回見通し 対 前回見通し・対前期） . . . . . P. 6、8
- 営業主要計数・諸経費内訳（今回見通し 対 前回見通し・対前期） . . . P. 7、9
- 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳 . . . . . P. 10

# 実績編



# 連結 主要決算数値 第3四半期実績 (今期対前期)

2009年4月～12月(2009年度第3四半期)実績<対前年同期実績>

(単位:億円未満切捨て)

	今期	前年同期	増減		
売上高	9,653	11,613	-1,960	-16.9%	ガス売上高▲1,619
営業利益	435	-139	574	-	ガス営業利益+546
経常利益	473	-180	653	-	<営業外損益>為替レート差損益+53、持分法投資利益▲20
四半期純利益	316	-73	389	-	<特別損益>特別利益減(前年同期:リース会計基準の適用に伴う影響額78、厚生年金基金代行返上益15)で▲94、利益増に伴う法人税等増で▲170
総資産 ※	17,599	17,641	-42	-0.2%	受取手形及び売掛金▲206、原材料及び貯蔵品▲186、投資有価証券+278
自己資本 ※	7,902	7,723	179	2.3%	利益剰余金増(四半期純利益計上+316、剰余金の配当▲217等)+96、評価・換算差額等増(その他有価証券評価差額金+75等)+133
自己資本比率 ※ (%)	44.9%	43.8%	1.1	-	総資産減(▲0.2%)に加え、自己資本増(+2.3%)により上昇
総資本回転率 (回転)	0.55	0.66	-0.11	-	総資産期中平均残高減だが、売上高減(▲16.9%)により下落
有利子負債残高	6,035	5,932	103	1.7%	東京ガス+83、Tokyo Gas Pluto+73、ティージー・クレジットサービス+53、東京ガス都市開発▲90(それぞれ連結ベース)
四半期純利益	316	-73	389	-	
減価償却(*2・3)	1,067	1,027	40	3.8%	東京ガス+22、東京エルエヌジータンカー+16
営業キャッシュ・フロー(*1)	1,383	953	430	45.1%	
設備投資(*2)	963	1,014	-51	-5.0%	東京ガス▲35、東京ガス都市開発▲34、東京エルエヌジータンカー▲32、エネルギーアドバンス▲24、Tokyo Gas Gorgon+69、
1株当たり四半期純利益 (円/株)	11.68	-2.78	14.46	-	四半期純利益増(+389億円)により上昇
1株当たり純資産 (円/株)	292.82	284.72	8.10	2.8%	

今期(2009年4月～12月)は連結66社(東京ガス+連結子会社61社+持分法適用関連会社4社)、前年同期は連結62社(東京ガス+連結子会社57社+持分法適用関連会社4社)

※印は09年3月末との比較

(\*1)営業キャッシュ・フローは財務諸表キャッシュ・フロー計算書値ではなく「四半期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

# 個別 主要決算数値 第3四半期実績（今期 対 前期）

億円

	今期	前年同期	増減	
総売上高	8,218	10,118	-1,900	-18.8%
営業利益	266	-286	552	-
経常利益	284	-301	585	-
当期純利益	189	-191	380	-

億円

	今期	前年同期	増減			
製品売上高(ガス売上高)	6,810	8,449	-1,639	-19.4%	数量・料金構成差▲395億円、単価差▲1,244億円	
営業費用	原材料費	3,253	5,562	-2,309	-41.5%	数量・原料構成差▲309億円、単価差▲2,000億円
	(粗利)	(3,557)	(2,887)	(670)	(23.2%)	数量・構成差▲86億円、単価差+756億円
	諸給与	961	888	73	8.3%	退職手当+85億円 他
	諸経費	1,628	1,595	33	2.1%	
	減価償却費	781	758	23	3.1%	税制改正当期到達影響+6億円、本支管・製造設備他新規取得に伴う償却費増+17億円
LNG受託加工費	-24	-30	6	-		
計	6,600	8,773	-2,173	-24.8%		
受注工事収支	-13	-13	0	-		
器具販売等収支	50	49	1	0.7%	ビルトインコンロ+1億円 他	
営業雑収支	37	36	1	1.7%		
附帯事業収支	20	0	20	-	LNG販売+11億円、電力販売+8億円	
営業利益	266	-286	552	-		
営業外収支	17	-15	32	-	環境整備費減+10億円、天候デリバティブ差損減+7億円、国内普通社債利息減+4億円 他	
経常利益	284	-301	585	-		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	0	0	0	-		
法人税等	94	-110	204	-		
当期純利益	189	-191	380	-		

## 料金スライドの収支への影響

	今期	前年同期	増減
料金によるスライド回収	-600	742	-1,341
原料費の増加分	-721	1,279	-2,000
差し引き	121	-537	658

## 経済フレーム

	今期	前年同期	増減
原油価格	66.46	105.07	-38.61
為替レート	93.61	102.92	-9.31

金額は基準価格に対する増減額

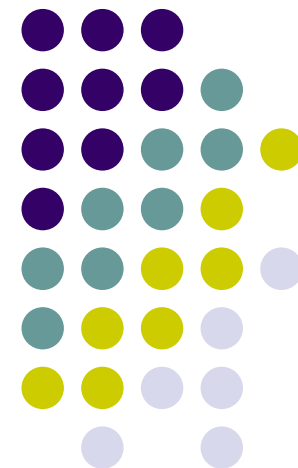
# 個別 営業主要計数・諸経費内訳 第3四半期実績（今期 対 前期）

お客さま件数		千件		
	今期	前年同期	増減	
お客さま件数	10,297	10,199	98	1.0%
新設件数	128	140	-12	-8.6%

個別ガス販売実績		百万m3				
	今期	前年同期	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	230.3	237.4	-7.1	-2.9%	気温影響▲2.6m3(▲1.1%)、その他増減▲4.5m3(▲1.8%)	
家庭用	2,011	2,053	-42	-2.1%	気温影響▲22百万m3(▲1.1%)、件数差+17百万m3(+0.8%)、その他増減▲37百万m3(▲1.8%)	
業務用	商業用	1,360	1,441	-81	-5.6%	
	その他用	648	630	18	2.9%	
業務用計	2,008	2,071	-63	-3.0%	気温影響▲5百万m3(▲0.2%)、その他増減▲58百万m3(▲2.8%)	
工業用	発電専用	1,421	1,680	-260	-15.5%	
	発電専用以外	2,163	2,485	-321	-12.9%	
工業用計	3,584	4,165	-581	-14.0%		
計	5,592	6,236	-644	-10.3%		
卸供給	1,476	1,517	-41	-2.7%	気温影響▲1百万m3(▲0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲40百万m3(▲2.6%)	
合計	9,078	9,806	-728	-7.4%	気温影響▲29百万m3(▲0.3%)、発電専用▲260百万m3(▲2.7%)、工業用(発電専用以外)▲321百万m3(▲3.3%)、卸供給(気温影響除き)▲40百万m3(▲0.4%)、その他▲78百万m3(▲0.7%)	
(内大口供給)	4,499	5,071	-572	-11.3%		

諸経費					
	今期	前年同期	増減		
修繕費	245	241	4	1.5%	
消耗品費	100	92	8	9.2%	消耗品ガスメータ増(計画数量増)+8億円
賃借料	145	150	-5	-3.3%	建物賃借料減(賃貸面積減)▲5億円
委託作業費	442	424	18	4.2%	ライフバル委託費増+8億円、安全点検強化+5億円 他
租税課金	294	314	-20	-6.4%	事業税減▲22億円 他
需要開発費	158	129	29	22.4%	ライフバル手数料増+20億円、エネファーム広告費等増+15億円 他
その他	244	245	-1	-0.4%	

# 見通し編



# 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

(億円)

## 経済フレーム

	今回01/29			
	上期	下期	年度	
原油価格	61.82	77.38	69.85	\$/bbl
為替レート	95.53	89.86	92.71	円/\$
	前回10/28			
	上期	下期	年度	
原油価格	61.81	70.00	65.91	\$/bbl
為替レート	95.53	95.00	95.27	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	0.01	7.38	3.94	\$/bbl
為替レート	0.00	-5.14	-2.56	円/\$

## 原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度

1\$/bbl	4Q	通年
売上高	0	0
原料	-2	-2
粗利	2	2

1円/\$	4Q	通年
売上高	-3	-3
原料	-11	-11
粗利	8	8

※いずれも、油価(為替)が1\$ (1円)下がった場合の収支影響額

## 経済フレーム

	今回01/29			
	上期	下期	年度	
原油価格	61.82	77.38	69.85	\$/bbl
為替レート	95.53	89.86	92.71	円/\$
	前年実績			
	上期	下期	年度	
原油価格	119.71	60.84	90.52	\$/bbl
為替レート	106.12	95.08	100.71	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	-57.89	16.54	-20.67	\$/bbl
為替レート	-10.59	-5.22	-8.00	円/\$



# 連結 主要決算数値 通期見通し (今回対前回見通し/前期実績)

(参考)

億円

<今回見通し対前期実績>

	今回 (1/29)	前回 (10/28)	増減		備考	前期実績	増減	
売上高	14,100	14,070	30	0.2%	ガス売上高+7、器具売上高+21	16,601	-2,501	-15.1%
営業利益	840	720	120	16.7%	ガス+64、器具+12、その他+17	652	188	28.8%
経常利益	840	720	120	16.7%		583	257	44.0%
当期純利益	550	480	70	14.6%	利益増に伴う法人税等増▲50	417	133	31.9%

総資産	18,030	18,270	-240	-1.3%		17,641	389	2.2%
自己資本	8,000	7,930	70	0.9%	利益剰余金増+70(当期純利益増加)	7,723	277	3.6%
自己資本比率 (%)	44.4%	43.4%	1.0	-	総資産減・自己資本増により上昇	43.8%	0.6	-
総資本回転率 (回転)	0.79	0.78	0.01	-		0.96	-0.17	-
ROA(*2) (%)	3.1%	2.7%	0.4	-	当期純利益増(+70)により上昇	2.4%	0.7	-
ROE(*2) (%)	7.0%	6.1%	0.9	-	当期純利益増(+70)により上昇	5.4%	1.6	-
有利子負債残高	5,500	6,010	-510	-8.5%	TG▲580(連結ベース)	5,932	-432	-7.3%
D/Eレシオ	0.69	0.76	-0.07	-		0.77	-0.08	-
	当期純利益	550	480	70	14.6%	417	133	31.9%
	減価償却(*3・4)	1,480	1,490	-10	-0.7%	1,410	70	4.9%
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,030	1,970	60	3.0%		1,827	203	11.1%
設備投資(*3)	1,550	1,560	-10	-0.6%		1,459	91	6.2%
TEP	126	48	78	162.5%	経常利益増(+120)により増加	-48	174	-
(WACC)	3.4%	3.4%	-	-		3.4%	0.0	-
1株当たり当期純利益 (円/株)	20.38	17.70	2.68	15.1%	当期純利益増(+70)により上昇	15.63	4.75	30.4%
1株当たり純資産 (円/株)	296.43	292.34	4.09	1.4%	自己資本増により上昇	284.72	11.71	4.1%
総分配性向(*5)	(*6)	(*6)	-	-		63%	-	-

今期(2010年3月期)は連結66社(東京ガス+連結子会社61社+持分法適用関連会社4社)、前期は連結62社(東京ガス+連結子会社57社+持分法適用関連会社4社)

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(\*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(\*5)n年度総分配性向 = ((n年度の利益処分ベース配当金額)+(n+1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)

(\*6)本中期経営計画期間(2009~2013年度)中における総分配性向の目標を、6割に設定している。

TEP(Tokyo Gas Economic Profit)について  
 TEP=税引後・利払前利益-資本コスト額(投下資本×WACC)  
 ・有利子負債コスト 金利(1.24%)  
 ・株主資本コスト率(10年国債利回過去10年平均 1.47%)、  
 リスクプレミアム4.0%、β 0.75  
 ・WACC算定に使用する自己資本=08年度平均時価総額

# 個別 主要決算数値 通期 (今回見通し 対 前回見通し)

億円

	今回1/29	前回10/28	増減	
総売上高	12,080	12,020	60	0.5%
営業利益	610	520	90	17.3%
経常利益	620	540	80	14.8%
当期純利益	410	360	50	13.9%

億円

	今回1/29	前回10/28	増減			
製品売上高(ガス売上高)	10,060	10,050	10	0.1%	数量・料金構成差+64億円、単価差▲54億円	
営業費用	原材料費	4,816	4,872	-56	-1.1%	数量・原料構成差+39億円、単価差▲95億円
	(粗利)	(5,244)	(5,178)	(66)	(1.3%)	数量・構成差+25億円、単価差+41億円
	諸給与	1,282	1,282	0	0.0%	
	諸経費	2,346	2,353	-7	-0.3%	
	減価償却費	1,081	1,089	-8	-0.7%	設備取得時期遅れに伴う償却費減他▲8億円
	LNG受託加工費	-32	-32	0	0.0%	
計	9,493	9,564	-71	-0.7%		
受注工事収支	-10	-10	0	0.0%		
器具販売等収支	30	21	9	42.9%	器具収支 リバート等費用減他+9億円	
営業雑収支	20	11	9	81.8%		
附帯事業収支	23	23	0	0.0%		
営業利益	610	520	90	17.3%		
営業外収支	10	20	-10	-50.0%	環境整備費増▲22億円、為替レート差益増+10億円 他	
経常利益	620	540	80	14.8%		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	0	0	0	-		
法人税等	210	180	30	16.7%		
当期純利益	410	360	50	13.9%		

## 料金スライドの収支への影響

	今回1/29	前回10/28	増減
料金によるスライド回収	-820	-758	-62
原料費の増加分	-881	-784	-97
差し引き	62	27	35

## 経済フレーム

	今回1/29	前回10/28	増減
原油価格	69.85	65.91	3.94
為替レート	92.71	95.27	-2.56

金額は基準価格に対する増減額

※分析手法一部修正後の数値

# 個別 営業主要計数・諸経費内訳 通期（今回見通し 対 前回見通し）

## お客さま件数 千件

	今回1/29	前回10/28	増減	
お客さま件数	10,360	10,360	0	0.0%
新設件数	181	184	-3	-1.6%

## ガス販売量内訳 百万m3

	今回1/29	前回10/28	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	383.1	380.2	2.9	0.8%	気温影響+1.1m3(+0.3%)、その他増減+1.8m3(+0.5%)	
家庭用	3,342	3,316	26	0.8%	気温影響+10百万m3(+0.3%)、件数差▲1百万m3(▲0.0%)、その他増減+17百万m3(+0.5%)	
業務用	商業用	1,898	1,901	-3	-0.2%	
	その他用	885	887	-2	-0.2%	
業務用計	2,783	2,788	-5	-0.2%	気温影響▲9百万m3(▲0.3%)、その他増減+4百万m3(+0.1%)	
工業用	発電専用	1,935	1,922	13	0.7%	
	発電専用以外	2,941	2,920	21	0.7%	
工業用計	4,876	4,842	34	0.7%	既存物件稼働増	
計	7,659	7,631	28	0.4%		
卸供給	2,044	2,020	24	1.2%	気温影響+1百万m3(+0.0%)、卸先需要家の既存物件稼働増+23百万m3(+1.2%)	
合計	13,045	12,967	78	0.6%	気温影響+2百万m3(+0.0%)、発電専用+13百万m3(+0.1%)、工業用(発電専用以外)+21百万m3(+0.2%)	
(内大口供給)	6,123	6,103	20	0.3%	卸供給(気温影響除き)+23百万m3(+0.2%)、その他+19百万m3(+0.1%)	

## 諸経費

	今回1/29	前回10/28	増減		
修繕費	357	355	2	0.6%	
消耗品費	136	139	-3	-2.2%	消耗品ガスメータ減▲3億円
賃借料	194	195	-1	-0.5%	
委託作業費	617	619	-2	-0.3%	
租税課金	405	405	0	0.0%	
需要開発費	248	255	-7	-2.7%	需要開発手数料減▲7億円
その他	389	385	4	1.0%	製造設備除却費増+3億円 他

# 個別 主要決算数値 通期 (今回見通し 対 前期実績)

億円

	今回01/29	前期実績	増減	
総売上高	12,080	14,481	-2,401	-16.6%
営業利益	610	425	185	43.4%
経常利益	620	398	222	55.5%
当期純利益	410	250	160	63.4%

億円

	今回01/29	前期実績	増減			
製品売上高(ガス売上高)	10,060	12,257	-2,197	-17.9%	数量・料金構成差▲345億円、単価差▲1,852億円	
営業費用	原材料費	4,816	7,448	-2,632	-35.3%	数量・原料構成差▲234億円、単価差▲2,398億円
	(粗利)	(5,244)	(4,808)	(436)	(9.1%)	数量・構成差▲111億円、単価差+547億円
	諸給与	1,282	1,174	108	9.2%	退職手当+115億円 他
	諸経費	2,346	2,241	105	4.7%	
	減価償却費	1,081	1,042	39	3.7%	税制改正当期到達影響+8億円、本支管・製造設備他新規取得に伴う償却費増+31億円
	LNG受託加工費	-32	-40	8	-	
計	9,493	11,866	-2,373	-20.0%		
営業雑収支	受注工事収支	-10	-8	-2	-	新設工事▲12億円、その他工事+3億円、間接費減他+7億円
	器具販売等収支	30	35	-5	-14.8%	TES(システム・機器)▲5億円 他
営業雑収支	20	26	-6	-25.6%		
附帯事業収支	23	7	16	199.5%	電力販売+16億円	
営業利益	610	425	185	43.4%		
営業外収支	10	-26	36	-	在外関連会社からの受取配当金+28億円、為替レート差益増+12億円 他	
経常利益	620	398	222	55.5%		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	0	10	-10	-	08: 有価証券評価減▲10億円	
法人税等	210	137	73	53.1%		
当期純利益	410	250	160	63.4%		

## 料金スライドの収支への影響

	今回01/29	前期実績	増減
料金によるスライド回収	-820	1,216	-2,035
原料費の増加分	-881	1,534	-2,415
差し引き	62	-318	380

## 経済フレーム

	今回01/29	前期実績	増減
原油価格	69.85	90.52	-20.67
為替レート	92.71	100.71	-8.00

金額は基準価格に対する増減額

# 個別 営業主要計数・諸経費内訳 通期（今回見通し 対 前期実績）

お客さま件数		千件		
	今回01/29	前期実績	増減	
お客さま件数	10,360	10,256	104	1.0%
新設件数	181	212	-31	-14.5%

ガス販売量内訳		百万m3				
	今回01/29	前期実績	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	383.1	388.8	-5.7	-1.5%	気温影響+0.4m3(+0.1%)、その他増減▲6.1m3(▲1.6%)	
家庭用	3,342	3,368	-26	-0.8%	気温影響+3百万m3(+0.1%)、件数差+25百万m3(+0.7%)、その他増減▲54百万m3(▲1.6%)	
業務用	商業用	1,898	1,952	-54	-2.8%	
	その他用	885	916	-31	-3.3%	
業務用計	2,783	2,868	-85	-3.0%	気温影響+8百万m3(+0.3%)、その他増減▲93百万m3(▲3.3%)	
工業用	発電専用	1,935	2,108	-173	-8.2%	
	発電専用以外	2,941	3,172	-231	-7.3%	
工業用計	4,876	5,280	-404	-7.6%	既存物件稼働減	
計	7,659	8,148	-489	-6.0%		
卸供給	2,044	2,073	-29	-1.4%	気温影響+9百万m3(+0.4%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲38百万m3(▲1.8%)	
合計	13,045	13,589	-544	-4.0%	気温影響+14百万m3(+0.1%)、発電専用▲173百万m3(▲1.3%)、工業用(発電専用以外)▲231百万m3(▲1.7%)	
(内大口供給)	6,123	6,516	-393	-6.0%	卸供給(気温影響除き)▲38百万m3(▲0.3%)、その他▲116百万m3(▲0.8%)	

諸経費					
	今回01/29	前期実績	増減		
修繕費	357	346	11	3.0%	製造設備等修繕費増+7億円、メ-タ修繕費増+4億円(計画数量増)
消耗品費	136	131	5	3.3%	消耗品ガスメ-タ増(計画数量増)+10億円、消耗工具器具備品▲3億円、業務用換気警報器▲1億円 他
賃借料	194	195	-1	-1.0%	
委託作業費	617	582	35	5.9%	保安点検委託費用増+14億円、ライバル委託費増+11億円、家庭用営業体制強化+4億円 他
租税課金	405	431	-26	-6.2%	事業税減(ガス売上高減)▲29億円 他
需要開発費	248	191	57	29.6%	エネファーム広告費用等増+30億円、ライバル向け手数料等増+28億円 他
その他	389	365	24	7.6%	本支管除却費増+17億円、試験研究費増+7億円

# 個別 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

## 営業キャッシュフロー

実績（今期 対 前期） 億円

	実績	前年同期	増減	
当期純利益	189	-191	380	-
減価償却	816	794	22	2.8%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,005	603	402	66.7%

通期見通し（今回1/29 対 前回10/28） 億円

	今回1/29	前回10/28	増減	
当期純利益	410	360	50	13.9%
減価償却	1,129	1,137	-8	-0.7%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,539	1,497	42	2.8%

通期見通し（今回01/29 対 前期実績） 億円

	今回1/29	前期実績	増減	
当期純利益	410	250	160	63.4%
減価償却	1,129	1,090	39	3.6%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,539	1,341	198	14.8%

## 設備投資内訳

実績（今期 対 前期） 億円

	実績	前年同期	増減	
製造設備	86	64	22	35.7%
供給設備	511	564	-53	-9.5%
業務設備他	77	82	-5	-5.8%
計	675	710	-35	-5.0%

製造設備：扇島工場タンク建設+24億円  
 供給設備：需要開発関連▲22億円、安定供給関連▲47億円、  
 その他供給設備（設備更新入取替他）+16億円  
 業務設備他：設備更新・改修他▲5億円

通期見通し（今回1/29 対 前回10/28） 億円

	今回1/29	前回10/28	増減	
製造設備	154	154	0	0.4%
供給設備	793	814	-21	-2.5%
業務設備他	226	214	12	5.0%
計	1,173	1,182	-9	-0.8%

供給設備：需要開発関連他▲21億円  
 業務設備他：設備更新・改修他+12億円

通期見通し（今回01/29 対 前期実績） 億円

	今回1/29	前期実績	増減	
製造設備	154	88	65	74.1%
供給設備	793	831	-38	-4.6%
業務設備他	226	143	81	56.4%
計	1,173	1,065	108	10.2%

製造設備：扇島工場タンク建設+43億円、根岸工場BOG設備+22億円  
 供給設備：需要開発関連▲22億円、安定供給関連▲40億円、  
 その他供給設備（設備更新入取替他）+24億円  
 業務設備他：システム開発+24億円、設備更新・改修他+57億円

# 東京ガス株式会社

## ＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ  
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ  
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価  
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東  
京ガスの対応等があります。

